

盗撮事件に関する意識調査

糠 明珊 (元智大学)

キーワード：盗撮事件

目 的

台湾では、携帯電話という撮影機器が入手しやすくなるため、いつでも誰でも簡単に撮影できる生活になっている。それに伴い、盗撮のニュースもしばしば流れ、ほとんどが常習犯である。盗撮が絶えないのは、おそらく人々の意識にかかっているだろう。というのは、盗撮が発覚されないのは勿論、盗撮が発覚されても、摘発しないことも考えられる。それは、盗撮の多発につながり、女性にとってますます不安全な環境になっていくだろう。

盗撮事件に対する意識を調査することで、大学生の態度を把握でき、盗撮事件の対処がどんな影響を及ぼすかについての検討を含め、より安全な環境作りに役立つだろう。

方 法

2015年12月に大学生44名(男性36名、女性8名)を対象にアンケート調査を行った。まず、盗撮事件及び立件するまでのパス図を説明してから、アンケートに質問を答えてもらった。

台湾では、盗撮は親告罪なので、被害者から告訴しないと立件されない。図1に示した通り、盗撮が発覚され、被害者に知らせ、さらに告訴しない限り、立件が成り立たない。盗撮が発覚されなければ、被害者がますます増えていくだろう。それで、盗撮が発覚するためには、事件にかかわる(犯罪現場または盗撮写真、ビデオの目撃など)人々の協力は不可欠である。本研究は異なる立場の質問を設定し、調査と共に、多角から盗撮事件を考える機会を与え、教育の役割も果たしていく。

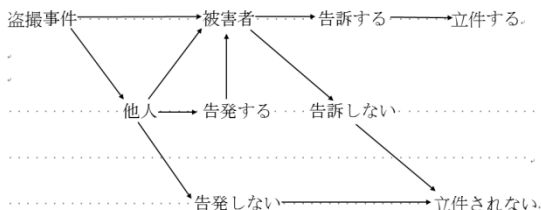


図1 盗撮事件立件するまでのパス図

結果及び検討

事件設定：ある場合に、A大学のAさんがトイレで、Bさんを盗撮したことが知らされた。

問1. 盗撮写真やビデオを見たら、あなたは告発するか。

	する	しない	どちらとも言えない
もしあなたがA大の学生で、Aさんの知り合いでもあるなら	21	5	18
もしあなたがA大の学生で、Aさんの知り合いではないなら	32	6	7
もしあなたの子どもがA大に通ってれば	35	5	5

問1の結果に示した通り、どの立場も告発する傾向が高い。盗撮者が知り合いであれば、告発に迷う回答が多くなった。具体的には、友達にチャンスあげたい、友情に支障をきたされたくない、告発に面倒などの理由が記述された。

問2. もしあなたがBさん(恋人、家族)なら、あなたかの告発を期待するか。

	する	しない	どちらとも言えない
もしあなたがBさんなら	32	6	6
もしあなたがBさんの恋人なら	33	5	6
もしあなたがBさんの家族なら	34	5	5

問2の結果に示した通り、Bさん及び恋人、家族の答えの一致性が現れ、告発の期待度が高く、その理由に、被害者であるBさんの知る権利が強調された。

問3. もしあなたがBさん(恋人、家族)で、告発が知らされ、進んで告訴を申し出るか。

	する	しない	どちらとも言えない
もしあなたがBさんなら	29	3	1
もしあなたがBさんの恋人なら	27	3	15
もしあなたがBさんの家族なら	30	1	13

問3の結果に示した通り、告訴する答えが一番多かった。告訴しないのは、Bさんの二次被害の危惧が主な理由であった。